

教科名	社会
科目名	歴史
グレード	
単位時間	1 単位時間
対象学年	中学 3 年

科目の概要と目標	人権を尊重し平和を愛する市民の育成を目指します。国家分断的な歴史観から脱却し、世界史と日本史の相互連関的な学びを深めます。
使用教科書	東京書籍『新しい社会 歴史』、山川出版『歴史総合 近代から現代へ』
使用副教材	浜島書店『資料 カラー歴史』。授業プリント。
評価の方法	定期試験を主とし、平常点を加味する。
学習の方法	主体性をもって授業にのぞんでください。しっかりと授業を聞いて復習を欠かさず行えば実力の向上は保障します。
生徒への一言	授業を重視してください。

月	授 業 予 定
4 月	開国と不平等条約、尊皇攘夷運動と開国の影響、江戸幕府の滅亡
5 月	新政府の成立、明治維新の三大改革、富国強兵と文明開化、
	5 月下旬 前期中間考査
6 月	近代的な国際関係、国境と領土の確定、自由民権運動の高まり、立憲制国家の成立、欧米列強の侵略と条約改正
7 月	日清戦争、日露戦争、韓国と中国、産業革命の進展、
8・9 月	近代文化の形成、第一次世界大戦、ロシア革命、国際協調の高まり
	9 月下旬 前期期末考査
10 月	アジアの民族運動、大正デモクラシーと政党内閣の成立、広がる社会運動と普通選挙の実現、新しい文化と生活、世界恐慌とブロック経済
11 月	欧米の情勢とファシズム、昭和恐慌と政党内閣の危機、満州事変と軍部の台頭、日中戦争と戦時体制
	11 月下旬 後期中間考査
12 月	第二次世界大戦の始まり、太平洋戦争の開始、戦時下の人々
1 月	戦争の終結、占領下の日本、民主化と日本国憲法
2 月	冷戦の開始と植民地の解放、独立の回復と 55 年体制、緊張緩和と日本外交、日本の高度経済成長、マスメディアと現代文化
	2 月下旬 後期期末考査
3 月	冷戦後の国際社会、変化の中の日本、持続可能な社会に向けて